

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)保育目標:ことばをはっきりと元気にいえる子、よく考えて行動する子、友達をいたわってやれる子 2)理念:園児にとって何が重要で何が必要かを踏まえて判断する 3)方針:お子様の安全を第一に考え、その立場から保育サービスを提供する 4)考え方:毎朝の朝礼を通し、意思疎通が浸透した組織形成による各人のレベルアップと情報の共通化 5)保育士への課題:お子様にとって何がよいかを考え、その上で自らの行動を能動的と勝手に行動を区別する</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>元気で明るい人材(プライベートで病んでいては、園児に対し、温かい心で接することは難しいから)</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>お子様を安心安全にお預かりすることが、何よりも優先されることを第一に考えて行動してほしい。</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	3歳児以上のクラスは親子遠足、4、5歳児クラスはお泊り保育など、子どもたちは様々な体験を積んでいます
	内容	3歳児以上のクラスは毎年春に親子遠足に行きます。貸し切りバスで水族館、海浜公園など親子で楽しめる場所を選んで、保護者も一緒に楽しんでいます。4、5歳児クラスでは、11月に園に1泊2日宿泊する「お泊り保育」を実施しました。親から離れて過ごすことは初めてで、不安に感じる子どもや保護者もいましたが、保育者や友達と協力しながら、共に過ごす時間を体験することで自信につながる姿が見られました。保護者にもお泊り保育中の子どもたちの様子を伝えて、成長している姿への理解につなげています。
2	タイトル	行事は前年度の反省点を振り返り、反映させることでさらに良いものにしていけるよう取り組んでいます
	内容	行事の後には毎回反省会を実施し、保護者や職員の意見を踏まえ、次年度に生かしていけるよう話し合っています。「夏のおたのしみ会」では、春夏秋冬をテーマにしたブースを作り、季節に合わせた飾りつけやゲームを考案して、子どもも保護者も楽しめる行事にしています。「おたのしみ発表会」では子どもたちが好きな絵本からやりたい劇を決めて、主体的に取り組めるよう工夫をしています。配役も、子どもたちが立候補して決めています。子どもたちが、自分で決めた事を最後までやり遂げることで、自信につなげていけるよう支援しています。
3	タイトル	園行事を、地域ニーズにも応える取り組みとして、地域の子育て家庭も招待し、「夏のおたのしみ会」として開催しました
	内容	園は、園庭開放などの地域の子育てニーズに応える取り組みとして、以前は毎年8月に「納涼会」として行っていた園行事を、昨年から「夏のおたのしみ会」として開催し、園児や保護者の他、卒園児や3組の地域の子育て家庭も参加しました。子どもたちは、会場の飾り付けをしたり、保護者とゲームをしたり、地域の子どもと一緒に遊んだりして楽しみました。地域の子育て家庭に対しては、育児相談も行いました。卒園児と5歳児と一緒にカレー作りをして、地域の親子も含め、参加者みんなで食べました。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの成長に合わせて玩具を製作したり、定期的に玩具や絵本の入れ替えをすすめてはいかがでしょうか
	内容	子どもの成長に合わせて玩具や絵本の入れ替えは大切です。また、子どもが絵本を楽しむための専用テーブルや棚、スペースを作るなど工夫し、自分で主体的に絵本を選んだり、片付けの習慣も育むことにつなげてはいかがでしょうか。その他にも、子どもの主体性を引き出す保育を進める上で、中に何が入っているのかわかるように玩具の箱を透明にしたり、写真を貼ったり、子どもが自ら玩具を選び、手に取れるようにしてはいかがでしょうか。さらに、子どもの姿に合わせてアレンジしやすい手作り玩具などの工夫もおすすめします。
2	タイトル	運営規程に基づき事務所や文書類の3S(整理、整頓、清掃)に取り組むことをおすすめします
	内容	園の文書類のファイルには、数年の記録とフォーマット用紙が綴じられずに挟まれるなどの状況が一部に見られます。運営規程に基づき、最新の年度以外の書類は別途保管したり廃棄するなど、ファイルには最新版のみが綴られるようにし、誤用や紛失にならないよう改善をおすすめします。また、事務所に置かれている物品や書類で現在使われていないものの廃棄を検討するなどして、自由なスペースを確保し、機能的に使えるようにしてはいかがでしょうか。園全体で、3S(整理、整頓、清掃)を一斉に行うなどの取り組みを行うことをおすすめします。
3	タイトル	中長期計画と事業計画では、一部整合がとれていない箇所があるため、整合のとれた計画を作成するとよいでしょう
	内容	中長期計画と事業計画では、一部整合がとれていない箇所があるため、整合の取れた計画を作成するとよいでしょう。また、事業計画と事業報告も同様に、計画項目と実施項目の整合がとれるようにするとよいでしょう。また、中長期計画の内容を事業計画に反映し、事業報告で計画を反省し、反省の内容を次年度の計画に反映させるなど、PDCAサイクルが回るようにしてはいかがでしょうか。さらに、計画の目標と進捗度合いは計画の主な項目ですべて決めておき、事業報告では目標の達成度で反省を行うとよいでしょう。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル①	毎週の担任会議で、一人ひとりの子どもに関する情報を共有し保育に生かしています	
内容①	担任会議を毎週開催して、各クラスの子ども一人ひとりの様子を報告し合い共有しています。配慮が必要な子どもについては、担任のみではなく他のクラスからの視点も取り入れて、全職員が同じ目線で子どもに関わっています。また、ヒヤリハット報告も担任会議で行っており、安全確保について共通認識を持つことで、事故が起こらないよう保育室や園内環境を整えています。給食担当者も月に1回、会議に参加して、0歳児クラスは離乳食の進め方、他のクラスは食育について話し合いをして、年齢ごとの留意点を確認しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	食材の産地を表示し、手作りのドレッシングを使うなど、安全な食品を提供しています	
内容②	給食は素材本来の味を生かせるよう、出汁を使って食べやすい工夫をしています。なるべく国産の材料を使用することを心がけており、食材の産地は保護者の目のつきやすい出入口に日々の給食の写真と一緒に貼り出しています。カレールーやドレッシングも手作りの物を使用し、果物を除くすべての食材は加熱して提供するなど、食の安心、安全に配慮しています。給食には子どもたちが園内で栽培した小松菜をお浸し、味噌汁にして提供しています。トウモロコシの皮むき、枝豆の鞘取りなど食材に触れる機会を設け、食への関心を引き出しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	子どもの防災や安全確保のため、様々な工夫をしています	
内容③	園では、防災備品袋(各保育室の棚の扉付近に、棚のどこにどのような防災グッズや食料が置いてあるか分かる図)を作成し、災害時に速やかに食料等を使用できるよう工夫しています。散歩の際には日付、引率者の人数、場所、携帯電話番号などを記録し、散歩前に全員の写真を撮影しています。万が一方向不明になっても、服装の特徴など記憶に頼らず分かるようにするなど安全確保に努めています。物置に子どもが閉じ込められた場合の対応として振動センサーを設置し、中から物置を叩くとセンサーが反応し職員が確認できるようにするなど工夫しています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目 カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	あり	◆1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	あり	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	あり	◆1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	あり	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
あり	◆2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
あり	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
カテゴリー1の講評		
<p>全体的な計画に理念、保育目標、保育方針を掲載し、指導計画作成の指針にしています</p> <p>園の保育方針、保育目標は、入園のしおり(重要事項説明書)に記載され入職説明会で保護者に説明します。また全体的な計画には保育目標、保育方針の一部と保育理念を掲載し、職員はそれらを確認しながら、指導計画作成の指針にします。保育目標は事務室に掲示し、確認できるようにしています。クラスだよりでは「友だちと関わることの楽しさを感じるように働きかける」などの保育のねらいを記載し、保護者に伝えています。園だよりやクラスだよりには月の目標やねらいを記載し、子どもの具体的な姿も含め保護者に分かりやすく伝えるとよいでしょう。</p> <p>園長、副園長、主任、保育主任は連携し、業務を分担し園運営をリードしています</p> <p>園の運営規程、職務分担表に、園長は園の業務を統括し、副園長が園長を補佐し、主任、保育主任は保育業務に責任を持つことが記載され、園内業務は園長、副園長、主任、保育主任が連携し園運営をリードしています。人事労務、保護者や苦情対応は副園長が担っています。副園長はまた、区との窓口であり、区の私立保育園連盟の会議にも出席し、法人との調整業務も担う他、事業報告、事業計画の策定、収支管理も担当しています。保育主任は主任と連携し、指導計画作成など保育業務を指導しています。</p> <p>運動会の会場確保ができず、内容の変更時は、その経緯を職員や保護者に周知しました</p> <p>事業計画や事業報告の作成、人事、設備投資など重要な案件は副園長が園長、主任と相談の上起案し、法人の了承を得た後、職員会議で周知しています。重要な案件のうち、子どもや保護者に大きく関わる人事、遊具や絵本などの新規導入などは、園長、副園長、主任、保育主任の4者で協議し、職員の声を踏まえて決めるようにし、職員会議で決定の経緯を説明します。運動会の会場が確保できず、急遽、会場を変更することになった際は職員の意見を踏まえ、園長、副園長、主任で決定しました。変更内容は保護者に一斉メールや園だより、口頭で説明しました。</p>		
カテゴリー1の講評補足		

公表コメント

非公表コメント

2		カテゴリ2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
		サブカテゴリ1(2-1)	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6	
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)	
評価	標準項目		
あり	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		
あり	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		
あり	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		
あり	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		
あり	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		
あり	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		
		サブカテゴリ2(2-2)	
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)	
評価	標準項目		
あり	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		
あり	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		
あり	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)	
評価	標準項目		
あり	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		
あり	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		

	<p>カテゴリー2の講評</p> <p>国内外の環境を把握し、人材確保、地域の子育て支援など園の課題を抽出しています</p> <p>保護者との会話から連絡はメールで行って欲しいとの要望を把握し、一斉メールを導入するなど保護者の意向をサービス改善に生かしています。職員提案からは、例えば職員自ら提案し作成した防災備品表(各保育室の棚の扉付近に、棚のどこにどのような防災グッズや食料が置いてあるか分かる図)で災害時に速やかにグッズ等を使用できるよう工夫しています。区から子育て家庭への支援などのニーズを把握し、私立保育園連盟から定員割れの保育園の状況など、福祉事業の動向を把握しています。把握した情報から、子育て支援などの課題を抽出しています。</p>
公 表 コ メ ン ト	<p>2023年からの5年間の中期計画に基づいた事業計画を策定しています</p> <p>人材確保と園舎のリノベーションを含む施設改修、安定した経営などの内容からなる法人の2023年度から5年間の中期計画に基づき、年度の事業計画を策定しています。コロナ禍が和らいできた状況を踏まえ、地域に根ざした保育園の安定した経営と運営、地域との交流、子育て支援、人材確保、安全確保などの項目で策定し、中期計画や抽出した課題を事業計画に具体化しています。法人が作成した「資金収支予算管理表」などの財務諸表に基づき、計画に必要な予算を確保し、副園長が予算内で執行するようチェックし、着実に計画を進めています。</p>
	<p>計画の進捗は、達成度合いを測る指標に基づき職員会議で進捗を確認しています</p> <p>職務分担表に基づき、全職員が役割を担って事業計画を推進しています。行事は行事ごとに複数の担当を決め、うち1名は昨年の担当者を入れ、取り組みが継承されるよう配慮しています。人材確保では、毎年実習生から職員を迎え入れることを目標とし、実習生を積極的に受け入れています。研修では全職員が外部研修が受講することを目標にしています。園開放として給食体験や「夏のおたのしみ会(園行事に地域の子育て親子を招待)」は年間10名を目標に取り組んでいます。職員会議で各業務や行事の報告が行われ計画の進捗を確認しています。</p>
非 公 表 コ メ ン ト	<p>カテゴリー2の講評補足</p> <p>以前は行事アンケートなどで保護者の意見を収集していましたが、現在は行われていないようです。再開するとよいでしょう。またフォトフレームはヒアリングの際は、各クラスごとにあると思っていたのですが、玄関に一つ、一週間おきに内容を変えるようでした。保護者への情報伝達の量が少ないと思われるので、保護者に対し、保育ドキュメンテーションなど園の保育の見える化に取り組んではいかがでしょうか。</p>

3		カテゴリー3	
経営における社会的責任			
サブカテゴリー1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
あり	◆1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		
あり	◆2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している		
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		
あり	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		
あり	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		
あり	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		
あり	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		
あり	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		

	<p>カテゴリー3の講評</p> <p>職員倫理規程で人権擁護、プライバシー保護などを職員に周知しています</p> <p>職員倫理規程や運営規程、就業規則の服務の欄で個人情報保護、守秘義務、虐待防止・権利擁護などについて職員に周知しています。また、保育関連機関の不適切保育チェックリストに基づき、職員が自らの保育が不適切な保育になっていないか自己チェックを行っています。職員会議、朝礼で他施設の不適切な事例が掲載された新聞記事などで共有し、法令、規範を守るよう確認しています。苦情解決制度は入園のしおり(重要事項説明書)に掲載して保護者に周知しています。保護者からの子どもの安全確保の要望については、都度改善に努めています。</p>
公表コメント	<p>虐待対応マニュアルを職員で共有し、虐待防止に組織的に取り組んでいます</p> <p>職員倫理規程で虐待防止、権利擁護の姿勢について職員に徹底しています。虐待対応マニュアルに基づき、虐待の4類型や虐待の発見ポイントについて職員会議や朝礼での確認、事例報告も行うなど、短時間の園内研修を行い虐待防止について職員に周知しています。また、虐待が疑われる場合は、職員から主任、園長と情報を上げ、経過観察を踏まえて、園長を窓口として区の発達支援センター、児童相談所など関係機関と連携できるような体制を整えています。そのほか運営法人にも報告する体制を整え、組織的に防止に取り組んでいます。</p>
	<p>離乳食など、見学者や園行事に参加した地域の親子などからの育児相談にも応じています</p> <p>第三者評価を3年ごとに受審し、運動会や「夏のおたのしみ会」など、園の行事を園外に掲示し情報提供するなど透明性を高めています。見学者や園行事に来園した子育て家庭などから受けた離乳食などの育児相談にも応じています。実習生やボランティアの受け入れマニュアルを作成し、担当者を主任として体制を整えています。大学生や専門学校の実習生のほか、中学生、小学生の職場体験も受け入れています。区の幼保小連携活動に参加し接続期教育に取り組み、私立保育園連盟では保育士確保などで区に支援要請をするなど、協働して取り組んでいます。</p>
非公表コメント	<p>カテゴリー3の講評補足</p>

4		カテゴリー4	
リスクマネジメント		サブカテゴリー1(4-1)	
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		
あり	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		
あり	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		
あり	◆4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		
あり	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		
		サブカテゴリー2(4-2)	
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	◆1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている		
あり	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している		
あり	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている		
あり	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している		
カテゴリー4の講評			
災害時の避難や連絡訓練など、対応策を明確化し対応しています			
園のリスク対策の優先順位は地震、水害、火災、不審者、事故です。地震、水害、火災は、危機管理マニュアルで発生時の対応や避難経路、連絡経路などを明示しています。氾濫危険のある河川が近く、海拔ゼロメートル地帯にあるため、区のハザードマップを基に近隣の建物への垂直避難を明確にしています。これらは、職員に周知し、保護者にも避難場所や非常時の連絡方法を周知しています。消防訓練は消防署に、不審者対応は警察署と連携しています。事業継続に向けてはBCP(事業継続計画)を作成していますが、職員に周知するとよいでしょう。			
事故報告、ヒヤリハット記録簿に基づき、事故の原因究明と再発防止に取り組んでいます			
事故発生の場合は速やかに子どもや保護者への対応処置を行い、事故報告書に記録し、原因究明と再発防止策について職員会議で話し合います。事故にならずに済んだ場合はヒヤリハット記録簿に記録し、職員間で共有し再発の防止に努めています。これらの報告書は、毎月の担任会議(指導計画を検討する)で報告し、再発防止に努めています。園外保育の際には日付、引率者人数、場所、携帯電話番号などを園外保育届に記録し、公園などで全員写真を撮影しています。万が一行方不明になっても服装の特徴などが分かるようにしています。			
経営情報など園情報を管理する仕組みにより、情報の活用、保護に取り組んでいます			
運営規程に基づき、保存期間や文書の利用、保管、廃棄について管理しています。経営情報は綴付きの書棚などに保管し、必要なときに使えるようになっていますが、書類には過去の文書と新しい文書が混在し、目的の文書をすぐに探し出すことができない状況が一部あり、改善するとよいでしょう。園長と一般職員のパソコンは物理的に分けることで経営情報の保管に努めています。職員のパソコンには個人情報を保管せず、主に園だよりの作成などで使っています。個人情報管理マニュアルには、個人情報の利用目的や開示請求への対応を明示しています。			
		カテゴリー4の講評補足	

公表コメント

非公表コメント

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上	
サブカテゴリー1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12	
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている	
評点(〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している
あり	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	
評点(〇〇)	
評価	標準項目
あり	◆1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている
あり	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	
評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	◆1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している
あり	◆2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
あり	◆3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している
あり	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	
評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている
あり	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる
あり	◆3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる
あり	◆4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている
サブカテゴリー2(5-2)	
組織力の向上に取り組んでいる	
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3	
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	
評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	◆1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している
あり	◆2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている
あり	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる

	<p>カテゴリ5の講評</p> <p>キャリアパスの指定研修を受けることで、処遇が改善することを全職員に説明しています</p> <p>子どもの成長や保護者を支援するという保育方針を実践する人材を求めており、ホームページ、採用サイト、専門学校への求人票送付、ハローワーク、実習生受入れなど工夫して人材を確保しています。園長、副園長が面接し、経歴や性格を考慮して採用を決定します。採用後の配置は年齢的なバランスなど担当クラスの状況を踏まえ決めます。キャリアパスは国の仕組みに準じ経験、技術などの必要条件などを職員に明示しています。指定研修を受けることで処遇が改善することや希望者には4つ全ての指定研修を受講できることを職員に説明しています。</p> <p>個人別の研修目標計画を策定し、職員ごとの課題に沿った研修を案内しています</p> <p>年度当初は外部研修の予定が決まらないため個人別の研修目標を設定し、研修案内が来た時点で職員の目標に沿った研修を案内します。キャリアアップ研修の受講状況は、目標・実績報告書により園長が管理します。園内研修はAEDの知識の習得などを行いました。非常勤職員は全て短時間のため、クラス担当が日常保育のOJTを実施しています。職員は研修受講後、研修報告書を提出・回覧して共有します。主任には管理的視点が身につくよう園長業務の一部を経験させたり、保育主任には担任会議の運営を任せるなど指導力が身に付くよう配慮しています。</p> <p>保育主任を置き、働きやすい職場環境づくりや、人間関係の構築に配慮しています</p> <p>給与体系は社会福祉協議会の等級制度を基に勤続年数に基づく給与体系にしていますが、園に特別な貢献をしたと認められる場合には、賞与に反映させています。園は残業や有給休暇取得のデータを基に副園長・主任が労務管理を行い、残業や休暇取得が公平になるようにするほか、小さな子どもがいる職員に配慮するなど働きやすい職場環境づくりに努めています。区の制度を利用し、勤続5年、10年の表彰を行っています。節目ごとにお茶会や年度初め、年度末には歡送迎会も行い交流を図るなど、職員のモチベーション向上にも取り組んでいます。</p>
公表コメント	<p>カテゴリ5の講評補足</p>
非公表コメント	

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>2022年度は保育事業の安心安全な環境づくりの一環として、遊具や設備の安全点検に取り組み、事故の未然予防に取り組みました。まずは危険性が考えられる遊具や設備をリストアップし、予算の制約の中で、優先順位をつけ、順次、安全点検を行うことにしました。報道にあったバス内への園児置き去り事故から園にも同様のことがないかを点検し、園の屋上にある非常時の物資などを備蓄している物置に子どもが閉じ込められた場合の対応策を検討しました。振動センサーを設置し、中で物置をたたくとセンサーが反応し、3階にいる職員が確認できるようにしました。また、木製のベビーベッドを点検し、研磨の機械によりささくれを取り除き、パテで埋める処理を施しました。これらの取り組みを通じ、事故の未然予防につながったと総括し、来年度も引き続き取り組むことにしています。</p>	
目標の設定と取り組み	具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
取り組みの検証	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
検証結果の反映	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>今年度の事故の防止の取り組みでは、ベビーラックの破損箇所にはビニールテープを巻いたり、滑り台の着地部分にゴムのシートを設置しています。また、職員からの意見により、園庭の人の目が届かない隅に人感ライトを設置し、子どもがいるかどうかを分かるようにしました。その他にも、保護者からの要望があった玄関をオートロックにし、保護者からも評価されています。これらの取り組みを通じ、職員の安全意識が高まり、人感ライトの設置など積極的な提案も出されるようになりました。</p>	
非公 開 文 献	カテゴリー7評価項目1の講評補足

<p>評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p>	
<p>今年度、コロナ禍が収束に向かう中で、園では様々な行事を通常に戻すことを目標にしました。小学校の運動場を借りて0～5歳児が一緒に行う運動会はしばらくの間実施していなかったため、全職員でシミュレーションをした上で実施し、子どもも喜び、保護者からも歓迎されました。おたのしみ会では園外の子育て親子も招待して行い、地域の親子から喜ばれました。5歳のお泊り保育は、一昨年までは「夜のおたのしみ会」として実施していましたが、今年はお泊り保育を復活させる計画としました。しかし、感染症を心配する保護者がいるため、全保護者から参加希望アンケートを取り、希望者だけで行うことにしましたが、結果としてほぼ全ての家庭が参加することになりました。夜寝る時にホームシックの子どもはいましたが、朝の保護者のお迎えの際には保護者から「たくましくなった」との感想がありました。行事を通常に戻す取り組みは、紙ね子ども、保護者ともに歓迎され、目標を達成することができました。保護者の意向に配慮する工夫をするなど、今年も様々な工夫をして引き続き通常通りの行事を行うことにしました。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p>具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p>目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p>次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評</p>	
<p>今年度の運動会は小学校が借りられなかったため、急遽園庭で行いました。園庭が狭いため3～5歳児だけで行いました。親子対抗の玉入れなど工夫して行い、保護者に勝ったことで子どもたちは充実感を味わうことができ、保護者からも「ありがとうございます」と感謝されましたが、乳児クラスから、乳児も行ってほしいとの要望があがったため、保護者に配慮し、0～2歳児も時間差で実施することになりました。お泊り保育も引き続き行い、卒園式は人数制限をなくして開催する予定です。行事を通常に戻したことで、様々な行事に子どもが取り組み、成長する姿を保護者に見てもらえる機会が増し、子どもと保護者の満足感向上につながっています。保育士もそれらの姿を見て、子どもや保護者の満足度をあげられるよう、運動会では、保護者用と子ども用の玉入れの高さや網の直径を変えて子どもが勝てるようにするなど、様々な工夫をして対応する姿が見られました。</p>	
<p>非公表 コメント</p>	<p>カテゴリー7評価項目2の講評補足</p>

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	あり	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	あり	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	あり	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	あり	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	サブカテゴリ-1の講評	
公表コメント	<p>パンフレット、ホームページには利用希望者に必要な情報を分かりやすくまとめています</p> <p>パンフレットは主に園見学者に配布しており、利用者に関心の高い定員、年間行事、一日の保育の流れなどに加えて、保育方針、保育目標も載せて本園の保育を紹介しています。ホームページには、園のシンボルマークに込めた保育への思いを載せて、「子どもの無限の可能性と豊かな個性を尊重し、保護者との信頼関係の中で、いっしょに子どもを育てていける環境を整えていく」という園の役割や基本姿勢について伝えています。パンフレットやホームページについては、毎年見直しの是非について職員間で検討して、時世に合わせて作り替えています。</p>	
	<p>園の情報は定期的に区に報告して、連携を取りながら潤滑な運営に努めています</p> <p>園長、副園長は園長会議、幼保小連合会議などに参加して、区や近隣園、関連施設と情報交換をして、必要な事は園運営に取り入れています。区のホームページ上の「保育施設紹介」の認可保育所には、開所時間、定員、延長保育、行事、保育、施設の特徴、園からのメッセージを載せて情報発信をしています。こちらも毎年見直しをして最新の情報を提供して、保育園入園を検討している地域の人が園の方針や、保育内容を理解して入園希望を出せるように働きかけています。園外にある掲示板には、園内イベントの告知を貼って参加を呼びかけています。</p>	
	<p>園見学は随時対応できる体制を整えて、見学者が保育を見られる機会を確保しています</p> <p>園見学は随時対応できる体制を整えて、なるべく多くの希望者に足を運んでもらい園内環境、保育の様子を見てもらえる機会を設けています。園見学の対応は、園長、副園長、主任が主で行っており、園舎内を案内しながら見学者の質問に丁寧に答えることで、入園に向けての疑問、不安感を払拭できるよう働きかけています。見学者には、延長保育や持ち物など、質問が多い内容について伝えたり、本園の保育方針、自標の説明、各クラスの製作や保育の様子を紹介するなど、本園の保育について理解してから入園を希望できる体制を取っています。</p>	
非公表コメント	サブカテゴリ-1の講評補足	

サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
あり	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
あり	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
あり	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している
あり	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている
サブカテゴリ-2の講評	
入園決定後には個人面談を実施して、子どもの成育歴などについて把握しています 入園決定後には健康診断と個人面談を行い、子どもの成育歴についてあらかじめ把握して、新生活を始める際の環境整備に反映させています。個人面談では入園時の持ち物、薬の服用についての留意点、登園にあたり医師の診断書が必要になる各種疾病について説明しています。面談時にはあらかじめ保護者に記入してもらっている、「入園時健康調査」「生活状況表」に沿ってさらに詳細を把握して、配慮してほしいことなど保護者の希望も聞き取っています。面談は新担任が担当することで、保護者と早期に信頼関係を築けるよう配慮しています。	
公表コメント	慣れ保育を提案して、個々の子どもに合わせて新生活を始めていけるようにしています 基本的には慣れ保育を経験してもらうことで、子どもが新しい環境に少しずつ慣れていくことで負担を軽減できるようにしていますが、個々の家庭の状況に応じて臨機応変に対応しています。個人面談にて保護者の就労状況を把握して、相談しながら慣れ保育の期間を決めています。推奨パターンとしては、2週間前後の期間の中で最初の3日間は1時間程度の滞在から始めて、少しずつ時間を延ばして食事、午睡、おやつを終戦して子どもの様子を見ていきます。保護者には保育中の様子を、連絡帳と口頭の両方で伝えて安心してもらえるよう努めています。
	サービスの終了後にも関係性を継続できる環境作りや関わりを大切にしています 卒園児には夏休中におたのしみ会を開催して、在園児と遊ぶ、カレーを一緒に作るなど卒園後も園に遊びに来られる環境を整えています。運動会にも卒園児を招待して、競技に参加できるようにプログラム編成を行っています。卒園児や転園児が園に遊びに来やすい環境作りや、行事などへの招待を継続的に実施して定期的に足を運んでもらうとともに、何もなくても気軽に立ち寄れるようにすることで、園が心の拠り所になれるよう目指しています。保護者にもいつでも相談できることを伝えており、卒園後にも親子で来園する姿が見られています。
	サブカテゴリ-2の講評補足
非公表コメント	

評価項目1		標準項目	評価
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点(〇〇〇)
あり	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		
あり	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		
あり	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		
評価項目2		標準項目	評価
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している			評点(〇〇〇〇〇)
あり	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		
あり	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		
あり	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		
あり	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		
あり	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		
評価項目3		標準項目	評価
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している			評点(〇〇)
あり	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		
あり	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		
評価項目4		標準項目	評価
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している			評点(〇〇〇)
あり	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		
あり	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている		
あり	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている		

サブカテゴリ-3の講評

子ども一人ひとりの日々の様子を保育記録に記入して、職員間で把握しています

子ども一人ひとりの毎日の様子については、興味を持ったこと、活動中の表情、友達や保育者とのやり取りなどの詳細を「保育記録」に記入して、職員間で成長の過程を把握しています。年3回、児童票に全国児の成長過程を記録するとともに、0歳児、1歳児クラスは毎月、2歳児以上のクラスは年4回発達経過記録にて成長過程をチェックして、個々の得手不得手を把握しています。子ども一人ひとりの成長に合わせて、苦手なことは保育の中で声かけを増やす、遊びに取り入れるなど工夫をして、着実な成長を引き出せるよう支援しています。

全体的な計画から年間指導計画、毎月の保育計画表を連動させています

全体的な計画は年度末に反省、評価を実施して、毎年修正を加えながら、子どもの姿に合わせた内容にしています。年間指導計画は年度初めに、前担任と新担任が話し合いながら、子どもに経験してほしいこと、伸ばしていきたいことを落とし込んで一年をかけて年齢に合わせた成長を引き出せるよう計画しています。全体的な計画と年間指導計画、毎月の保育計画表(月案)、週案などの各種計画類は連動性を持たせて、本園の保育方針、目標に沿った保育を日々継続的に提供することで、小学校入学に向けて目ざす姿に近づけられるよう立案しています。

職員会議や担任会議、朝礼を実施して、子どもに関する情報を職員間で共有しています

毎月の職員会議では各クラスからの報告、行事の反省、給食についての話し合いを実施して、職員間で情報を共有しています。担任会議は毎週開催して、各クラスの様子、保護者からの要望、配慮が必要な子どもについての支援方法について、話し合いの場を設けています。担任以外の職員からの視点や意見も聞き、子ども一人ひとりの特性を生かしながら成長を引き出しています。朝礼では保護者からの申し送りや、前日からの引継ぎ、体調が思わしくない子どもについて共有して、園として統一の対応をしています。

サブカテゴリ-3の講評補足

公表コメント

非公表コメント

サブカテゴリ-5	
5	<p>プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5</p>
<p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>	
評価	標準項目
あり	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている
あり	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている
<p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
あり	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
あり	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている
あり	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
サブカテゴリ-5の講評	
<p>入園時には、入園のしおりに沿って個人情報の取り扱いについて説明しています</p> <p>入園時には入園のしおりの中に、個人情報の取り扱いに関する園の基本姿勢を載せて、子どもの情報を外部に提供する際は必要最低限に留めることを保護者に伝えています。外部に提供をする場合については、小学校入学の際の情報共有、転園先へ必要な情報の引継ぎ、医療機関や公的機関を利用する際など子どもの利益や権利に基づいて利用することを明記して、子どもや保護者に不利益が生じないように配慮しています。子どもの写真を使用する際には保護者に同意を得てから行うことと、範囲を限定して、不必要に情報を流失させないようにしています。</p>	
公表コメント	<p>子どもの羞恥心や自尊心に配慮した保育を提供して、一人ひとりの個を大切にしています</p> <p>子どもの羞恥心に配慮し、おむつ交換は外から見えない場所で行い、トイレは大人が上から安全確認ができる作りになっていますが、不用意に覗き込まないようにしています。2階のテラスでの水遊びの際にはブルーシートで目隠しをしています。プライベートゾーンについても、相手が嫌がる場所を触ったり見たりしないということを少しずつ保育の中で子どもに伝えています。また、注意が必要な場面では、大きな声でみんなの前でのではなく、保育者が子どもと向き合っ必要必要な事を伝えるなど、一人ひとりの自尊心に配慮した保育を提供しています。</p>
	<p>虐待防止についてはチェックリストを活用して保育の振り返りをし、意識を高めています</p> <p>虐待防止については、区が発行している「保育実践振り返りシート」を活用して、より良い保育の提供を旨として、日ごろの保育の振り返りを行いました。保育の中で子どもを呼び捨てにする、呼び止める際などに腕をつかむなど不適切な行為を無意識にしているか再確認して、不適切保育につながりやすい言葉かけや行為について学ぶ機会を設けました。また、年度初めには「人権擁護のチェックリスト」を活用して、前年度の保育について振り返る機会を設けました。「人権擁護のチェックリスト」は、年度中にも定期的に活用して職員の意識を高めています。</p>
サブカテゴリ-5の講評補足	
非公表コメント	

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目
あり	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
あり	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている
あり	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)

評価	標準項目
あり	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
あり	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている

サブカテゴリ-6の講評

各種マニュアルやフローチャート化した重要な手順を、業務の中で確認しています

マニュアルは毎年見直しをして、現状に即した内容に刷新して日々の業務の中で活用しています。本年度は新型コロナウイルスの感染予防方法について、各種ガイドラインに沿って見直しをして、食事の際のパーティションは取り除くなど現状に合わせた環境設定を行っています。緊急時における緊急車両の要請手順は、フローチャート化して事務室の目の届くところに掲示するとともに、園の住所、電話番号などもとっさの時にすぐに伝えられるように掲示するなど、どの職員も同じ手順で対応できるようにしています。

他園の事故を検証して、自園におけるリスクを軽減できるような体制を取っています

ニュースで話題になった事故については、朝礼や職員会議で取り上げて自園においても発生のリスクを軽減していけるよう努めています。リンゴの誤嚥事故がニュースになった際には、再度提供方法について確認をして、無理に食べさせようとすると誤嚥のリスクも上がることから、食べる意欲を上げる声かけ、環境設定を考察しました。他の食材についても検証して、提供方法や、提供開始の年齢を引き上げるなど変更をしました。他園で置き去り事故が起きたことを教訓に、散歩の前には子どもの写真を撮って、服装、靴を記録しています。

保護者や職員の意見を反映しながら、より良いサービスの提供に努めています

保護者には運動会など保護者参加の行事の後にアンケートを実施して、意見や感想を聞き取り、園全体で改善に向けた話し合いをする場を設けています。保護者からの意見を受けて、子どもの保育中の様子を知ってもらえるようにフォトフレームを設置したり、運動会の開催方法を変更したりしました。職員の意見は会議などで随時発言してもらい、改善に結び付けています。行事の後には反省点、良い点の振り返りをして、次年度への引継ぎ事項として整理をすることで、前年度の反省を生かして毎年バージョンアップするようにしています。

サブカテゴリ-6の講評補足

公表コメント

非公表コメント

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 36/36	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目	
	あり	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	
	あり	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	
	あり	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	
	あり	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	
	あり	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	
	あり	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	
評価項目1の講評			
公表 コ メ ン ト	<p>保育者は一人ひとりの子どもの興味、関心を把握して個々に合わせた関わりをしています</p> <p>子ども一人ひとりの日々の様子は「保育記録」を作成して、興味、関心、友達との関わり方、発した言葉などをていねいに記録して、成長過程を把握しています。自由時間の遊びでは、ままごと、ブロックなど子どものリクエストを聞きながらいくつかの遊びを提供して、やりたい遊びを選べるよう配慮しています。室内での製作や静かな遊びの後には、園庭遊び、散歩など体を動かす活動を取り入れて、1日の流れや1週間の中で日課のバランスを考えながら保育を組み立て、子どもたちが様々な体験ができるよう工夫しています。</p>		
	<p>区の巡回指導を受け、子どもの個性を尊重した保育の提供につなげています</p> <p>気になる子の対応では区の巡回指導で、心理士が実際の保育を観察して発達の過程を踏まえた上で、一人ひとりに合わせた支援方法をアドバイスしてもらっています。巡回指導で経過を見る必要性や、専門機関につなげたほうが好ましいケースがあった場合には、専門職同席の保護面談を実施して説明しており、小学校入学前に必要な支援につなげる体制が整っています。配慮が必要な子どもには巡回指導を継続させることで、保育環境の整備、保育者の関わり方など、子どもの特性を生かした支援方法を学び、実際の保育に反映させています。</p>		
	<p>小学校入学に向けて学校見学などを実施し、子どもが期待感を持てるよう支援しています</p> <p>小学校入学に向けた準備として、50音の練習や自分の名前を漢字で書く、4歳児クラスからは鍵盤ハーモニカの練習を取り入れるなど、集中して取り組めるような机上活動の時間を設けています。係活動では朝の会の司会、給食の配膳の手伝いなどを行って、責任感を持って取り組むことを経験しています。小学校見学では、3歳児以上のクラスが展覧会を見に行っており、4、5歳児クラスは給食体験、おもちゃ作りにも招待してもらい、小学校とはどういうところか知ることで、入学に向けて期待感を持てるよう支援しています。</p>		
	<p>評価項目1の講評補足</p>		

2	評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	あり	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している
	あり	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している
	あり	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間補は子どもの状況に配慮している
あり	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	
評価項目2の講評		
公表コメント	登園時には子どもの体調に変わりがないかどうか、口頭で保護者に確認しています	
	登園時には顔色、声の調子、目の活気など全身をよく見て、子どもがいつもと違う様子がないか見逃さないよう努めています。2歳児クラスまでは連絡帳で家庭での様子についての記入欄がありますが、口頭でも保護者に朝の様子を聞いています。特記事項は「検温表」に記入して、担任や朝礼で申し送りをしています。保育中に体調の変化が予測される場合には、連絡することがあることを保護者に伝える、戸外活動を室内での活動に変更する、牛乳の提供があれば他の飲み物に変更するなど、臨機応変に対応して無理なく保育を受けられるよう配慮しています。	
	食事や排せつなどの生活習慣の習得は、個々の成長に合わせて支援をしています	
公表コメント	食事や排せつ、衣類の着脱などの生活習慣の習得については、子ども一人ひとりの発達に合わせて、少しずつ無理なく進めています。子どもの興味や、やりたい気持ちを引き出しながら、新しいことができるようになることは楽しい、嬉しいという気持ちを尊重した関わりを大切にしています。家庭での様子も聞き取りながら、園と家庭とが情報交換をして協力体制で関わることで、子どもが混乱しないよう配慮しています。担当職員間で情報を共有して、統一した支援方法で子どもに関わることを基本としています。	
	降園時には、子どものその日の様子について口頭でも伝えています	
非公表コメント	日中の活動は子どもの様子を考慮して参加するかどうか決めており、いつもと違う様子の子どもは、体調確認の回数を通常より増やして様子を観察しています。疲れた様子の子どもは、静かに過ごせる場所に誘導しています。午睡も無理に寝るように促すのではなく、寝たくない子どもは静かに過ごしてもらいながら対応しています。降園時には子どものその日の様子について保護者に口頭などで伝えており、各クラスの様子をフォトフレームで流すなど、新たな取り組みも入れながら保護者の安心感へつなげるよう努めています。	
	評価項目2の講評補足	

3	評価項目3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	評点(〇〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	
	あり	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	
	あり	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	
	あり	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	
	あり	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	
あり	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		
	評価項目3の講評		
公表コメント	リトミックや製作、書道などの活動を通して子どもの興味、関心を引き出しています 各保育室にはピアノが設置されており、保育者による生の演奏を聴きながらリズムに合わせて体を動かす表現活動を楽しんでいます。製作も毎月取り組んでおり、年齢に合わせて糊、ハサミ、クレヨンなどの道具の使用も進めています。同じ季節の製作においても、ちぎる、折る、貼る、塗るの難易度を変えることで、年齢に合わせた内容にしています。5歳児クラスは、硬筆、毛筆の時間も設けて文字を書くことに親しんでいます。毛筆は字の形をよく見る、書き順やバランスを考えるなど、小学校入学後にも経験が生かせる活動になっています。		
	異年齢での活動も取り入れて、集団活動からお互いが成長し合えるよう支援しています 異年齢での活動も流動的に取り入れて、3歳児以上のクラスと一緒に散歩に行ったり、自由遊びの時間はクラスの垣根を越えて他クラスに行って遊んだりしています。自分のクラス以外の場所に行く際には、担任に一言伝えるというルールを決めており、ルールを理解した上で動くということ子どもたちが学ぶ機会にしています。異年齢の活動では、年下の子どもは年上の子どもに憧れて、同じことをやってみようとするなど刺激を受ける姿が見られており、年上の子どもは、言い方や教え方を考えて一緒に楽しめる工夫をしながら遊んでいます。		
	近隣の公園への散歩や園庭遊びで、自然の中で体を動かしています 近隣に公園が多いという立地を生かして、公園遊びの日には自然の中で体を動かしたり、自然物に触れたりしています。戸外では季節ごとに変わる木や花、風について保育者が繰り返し伝えて、子どもが身近な自然に興味を持てるよう働きかけをしています。園庭遊びでは、順番を守って遊具で遊んだり、栽培している野菜や花の水やりをしたりしています。1、2歳児クラスは2階のテラスでの遊びや、屋上でお弁当を食べるなど場所を変えて見える景色を楽しんでいます。また、2階のテラスで水遊びをするなど、戸外での活動を楽しんでいます。		
非公表コメント	評価項目3の講評補足		

4	評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	
	あり	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	
	あり	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	
評価項目4の講評			
行事は子どもが主体的に取り組めるように、日常の保育内容を反映させています 行事には子どもたちの日頃の活動内容を反映させることで、主体的に取り組めるよう工夫しています。運動会ではお遊戯を披露していますが、リトミックで親しんでいる音に合わせた動きをしたり、リズムを取ったり、日頃の成果が生かされています。「おたのしみ発表会」の劇の内容は、子どもたちが好きな絵本から選べるようにして、楽しみながら参加できるよう促しています。行事では保護者も一緒に楽しんでもらえるよう、「夏のおたのしみ会」では保護者向けのゲームや迷路などを作って、ワクワク感を子どもと一緒に経験しています。			
公表コメント	行事では友達と一緒に一つの事を成し遂げる過程を経験して、成長を引き出しています 運動会の大玉転がしなどの団体競技では、友達と協力しながら取り組んでいます。「おたのしみ発表会」では、劇に取り組んでいますが配役は子どもたちが立候補して、やりたい役に決まった際には最後まで成し遂げることで達成感を経験しています。なりたい役になれないこともあります。自分の気持ちの調整ができるように保育者が関わり、友達を応援する側も経験することで、成長を引き出せる機会にしています。子ども一人ひとりが主役になれるよう、行事の際の初めの言葉などの役割分担は、平等になるように配慮して決めています。		
	保護者には行事に参加してもらいやすいように日程調整して参加を促しています 行事は年度初めに年間予定表を配布して、参加してもらいやすいようにしています。本年度の運動会では予定していた小学校の校庭が利用できず、急遽園庭で実施し、3～5歳と0～2歳を時間帯で開催にしました。直前での変更であったため、保護者からその点についても意見が寄せられており、反省点として次年度同じようなことが起きないようにしっかりと園内で話し合いをしました。行事はコロナ禍で縮小や実施そのものが難しい時期もありましたが、少しずつ平常に戻して保護者に子どもの成長を見てもらえる機会を確保していきたいと考えています。		
評価項目4の講評補足			
非公表コメント			

5	評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	
	あり	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	
評価項目5の講評			
保育時間の長い子どもが無理なく過ごせるように、くつろげる環境作りを心がけています 保育時間の長い子どもが無理なく過ごせるように、日中の保育を踏まえて夕方の保育時間を組み立てています。静かにくつろいで過ごせる場所を確保して、保育者が見守る中で一人でゆっくりとすることができる環境設定をしています。保護者の意向を汲み取りつつ、必要に応じて短時間寝るように促すなど、子どものその日の様子に合わせた対応をしています。保育室の環境も、静かに過ごしたい子どもと動きのある遊びをしたい子どもを同じ部屋にしないようにして、それぞれの遊びの場所を確保することで、思い思いのやりたいことができる時間になっています。			
公表コメント	その日の様子に合わせて合同保育にする時間を調整して、安全にも配慮しています その日の子どもの年齢や人数を考慮して、合同保育にする時間を調整し、年齢の低い子どもの安全にも配慮しています。軽食を18時45分頃に提供していますが、人数も少なくなってくる中でさみしく感じないように、保育者も一緒に子どもたちとくつろぎながら過ごす時間になっています。延長保育を楽しみ時間だと感じてもらえるように、紙芝居をたくさん用意する、いつもとは違う保育室で過ごすことで珍しいおもちゃがある、異年齢での関わりからゲームのルールを学ぶなど、普段の保育ではできない体験をしています。		
	評価項目5の講評補足		
非公表コメント			

6	評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	
	あり	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
	あり	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	
	あり	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	
		5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	
評価項目6の講評			
公 衆 メ ン ト	子どもが安心して食事が摂れるよう少人数から食事を始めて徐々に人数を増やしています		
	子どもが安心して食事に集中できるように、0歳児クラスは職員と一対一の食事から始めて、徐々に同じペースの子ども同士の少人数のグループで食事を摂っています。年齢が上がると友達と一緒にテーブルを囲んで、楽しく食べることを経験しています。好き嫌いもありますが、その子どものペースで少しずつ食べられる量、食材を増やして完食できる体験を積み重ねることで、自信につなげていけるよう促しています。介助しすぎるのではなく、子どもの食べたいという気持ちを引き出しながら、自分で食べることを楽しめるよう支援しています。		
	複数の栄養士によるバリエーションに富んだメニューを提供して食を楽しんでいます		
	毎月の職員会議では給食についても話し合いをして、各クラスの喫食状況、子どもの食事の様子などについて報告し、次月の献立に反省点を生かしています。複数の栄養士が献立を考えており、バラエティーに富んだメニュー作りや食べやすくする工夫、見た目からも食欲が増すような盛り付けや彩りなど、意見を出し合いながら子どもたちが給食を楽しみにできるように取り組んでいます。行事では伝統や文化に基づいた食材の提供、クリスマスや七夕にはいつもとは違う盛り付けをするなど、食を取り巻く文化についても興味を引き出しています。		
非 公 衆 メ ン ト	0歳児クラスから食への興味が広がるよう食育を行い、多様な学びにつなげています		
	0歳児クラスから食への関心が広がっていくよう、絵本から食べ物や果物を知る、ままごとでまねをするなど遊びの中に取り入れています。区が進めているベジファーストの考えを園も取り入れて、野菜の名前を伝えて野菜から食べるよう声かけをするなど、食から健康になれる視点も取り入れています。2歳児クラスからは、トウモロコシの皮むき、枝豆の輪取り、ジャガイモ洗いの手伝いや、園庭のプランターで小松菜を栽培しています。4、5歳児クラスでは、型抜きクッキーなどのクッキングも行って、食に関する多様な体験を提供しています。		
評価項目6の講評補足			

7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもが自分の健康や安全に関心をもち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	
	あり	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	
		3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	
評価項目7の講評			
公 衆 メ ン ト	手洗い指導や歯磨き指導など、健康に関心が持てる場を設けて習慣化につなげています		
	手洗い指導、歯磨き指導、咳エチケットなどを行って、子ども自身が健康管理について意識して取り組むことで、習慣化できるよう働きかけています。5歳児クラスには「ハロー8ちゃんクラス」として8歳日齢が生えてくるタイミングで、歯科衛生士から歯磨きの仕方、歯の大切さについて学ぶ場を保護者参観時に設けて、保護者にも正しい知識を知ってもらい家庭でも正しく取り組める機会にしています。また、交通ルールは日々の散歩時に横断歩道の渡り方などを繰り返し伝えらると共に、4、5歳児は交通安全教室でさらに学べる場を設けています。		
	園医や専門機関と連携し、子どもの成長を一緒に見守っています		
	園医とは毎月0歳児の検診の際に、発達に気になる子どもについて相談してアドバイスをもらっています。療育など専門機関に通っている子どもについては、保護者から療育先での指導方法を聞いたり、必要に応じて療育先から情報提供を受けて、園でも環境や指導方法を統一しています。また、園医からは、季節ごとに流行する感染症の発生状況、効果的な予防方法などについて随時伝えてもらい、職員への周知、子どもたちの手洗い方法など予防につながる行為を保育の中で再確認して、園全体で健康維持に努めています。		
非 公 衆 メ ン ト	保護者には、入園時に園の健康管理についての基本姿勢を説明して安心につなげています		
	保護者には園の健康管理、保健衛生について入園時に説明を行って、基本姿勢を伝えていきます。乳幼児突然死症候群の予防については、0歳児は5分おきに呼吸と体位の確認、1歳児は10分おきの確認に加えて、呼吸モニターの導入についても説明し、家庭でも仰向けで寝ることを習慣化をお願いします。保護者には感染症の流行時には、掲示板に詳細を貼って注意喚起しています。毎月の保健だよりでは季節ごとに流行しやすい感染症についての説明や、予防方法、罹患した際の注意点について掲載し、子どもの健康について共通理解を図っています。		
評価項目7の講評補足			

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	
	あり	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	
	あり	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	
	あり	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	
	あり	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	
評価項目8の講評			
<p>保護者の就労状況や家庭状況に配慮して、個々に合わせて受け入れ態勢を整えています</p> <p>保護者の就労状況に配慮して、当日の急な残業の際にも延長保育の受け入れを行って、保護者が働きやすい環境作りをしています。保護者の置かれている状況に応じて、職員のシフト体制を一部変更するなど臨機応変に対応しています。保育への不安事など保護者の相談にも一緒に対応策を考えるなど、保護者に寄り添っています。個人面談、保護者懇談会は当園では実施がないことから、保護者からの質問、不安などは話しかけやすい雰囲気作りや、日頃からの関係性作りを保育者から行って、何かあったら相談してもらえるよう働きかけています。</p> <p>子どもの様子については連絡帳や口頭で保護者に伝えるように努めています</p> <p>子どもの保育中の様子については、2歳児クラスまでは連絡帳で、3歳児以降は口頭で一人ひとりについての詳細を伝えるよう努めています。延長保育を利用する子どもの保護者には、担任職員が直接話ができないこともありますが、運番の職員に口頭やメモ、「検温表」に申し送り事項を記入して伝えていきます。本年度よりフォトフレームで各クラスの様子を流すなど、新たな取り組みも始めています。園でのけがなど重要事項については、担任から直接詳細を伝えたり、謝罪したりすることで、保護者の安心や信頼につながるよう努めています。</p> <p>保育参観や給食試食会を実施して保護者に子どもの保育中の様子を公開しています</p> <p>保育参観を年2回実施して、日頃の保育の様子を保護者に見てもらい、子どもがどのように一日を過ごしているのか、友達との関わり合い、保育者との関係性などについて理解につながる機会にしています。5歳児クラスの保護者には給食試食会を実施して、子どもにも大人気のカレーと一緒に食べて、園の給食についての考え方を知り、友達と食事をする楽しさを保護者も体験しています。毎年の親子遠足では、貸し切りバスを利用して水族館、植物園など少し遠い場所に出かけて、子どもと一緒に楽しめる機会を提供しています。</p>			
公表コメント	評価項目8の講評補足		
非公表コメント			

9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	
	あり	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	
評価項目9の講評			
<p>公園への散歩、地域の盆踊りへの参加など、地域資源を活用した活動を取り入れています</p> <p>近隣に公園が多い環境を生かし、遊具のある公園、普段より少し遠い公園などを利用して、子どもたちの健康な体作りに役立てています。町会の会員でもあることから、町会の盆踊りに参加して親子で楽しんでもらうなど、地域と連携しながら子どもが楽しめる機会を確保しています。コロナ禍前までは高齢者施設との交流を毎年行っており、鍵盤ハーモニカや童謡を歌って喜ばれていました。本年度も施設内に入ることは難しくても、プレゼントは渡す予定でいましたが、諸事情で中止となってしまったため次年度実現したいと考えています。</p> <p>「夏のおたのしみ会」や運動会には地域の人を招待して子どもと一緒に楽しんでいます</p> <p>「夏のおたのしみ会」や運動会は地域の人や卒園児を招待しており、道路に面した掲示板にお知らせを掲示して参加を呼びかけています。今年度の「夏のおたのしみ会」には卒園児の小学校5年生がボランティアとして参加して、準備段階の飾りの製作、当日の手伝いに加えて、子どもと一緒に遊ぶなど成長した姿を見ることができました。地域支援としては、給食体験を開催して地域の親子に園の給食を食べながら保育園を疑似体験してもらい、園見学者からの育児に関する不安や、疑問には随時対応するなど、園の資源を地域に還元していけるよう努めています。</p>			
公表コメント	評価項目9の講評補足		
非公表コメント			

調査対象

保育園を利用している65世帯を対象に調査を実施しました。在園児は75名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は利用者から直接評価機関へ郵送する方法により実施しました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数	75
利用者家族総数(世帯)	65
共通評価項目による調査対象者数	65
共通評価項目による調査の有効回答者数	50
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	76.9%

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が13人(26%)、「満足」が26人(52%)で「満足」以上の回答は合計39人(78%)でした。

自由意見には、「いつもていねいに対応をしていただき、先生方にはたくさんの愛情をもらって過ごしているようで、感謝です」「一緒に子育てをしてくださっていると感じます」「先生たちが明るく、風通しの良さそうな雰囲気伝わってきます」「行事の準備も手作りで作り込みがすごく、特に運動会の内容は良かったと思います」「保護者の方も良い方が多く、学年ごとのイベントはアットホームです」「少人数なので子ども同士も仲良しで、楽しそうです」「先生方が親身になって接してくださり、いつも気にかけてくれます」「働く保護者に対して協力的です」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」で92.0%、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」で90.0%、「保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか」で86.0%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
コメント				
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	45	3	2	0
「はい」が90.0%、「どちらともいえない」が6.0%、「いいえ」が4.0%でした。 自由意見には、「今までできなかったことが、できるようになってきています」「道具を使ったり、歌をうたえるようになってきて、ありがとうございます」「園での刺激が子どもにとってもプラスになっています。子どもの笑顔がどんどん増えていて、とても充実しています」「各クラスの交流も多く、お姉さん、お兄さんや、小さい子どもたちとの交流が多いです」「食育の機会があり、良い経験ができます」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	40	8	2	0
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が16.0%、「いいえ」が4.0%でした。 自由意見には、「いつも保育園に行くのを楽しみにしている様子なので、ありがたいです」「毎月製作をしていて、お絵かきなどに挑戦させてくれます」「イベントに力が入っていて、手作り楽しいです」「保育の仕方がのびのびとしています」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	39	8	2	1
「はい」が78.0%、「どちらともいえない」が16.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「退園後、『〇〇がおいしかった』『〇〇を食べた』などと話してくれるので、本人に、良い食の体験をさせていただいていると感じます」「給食がおいしいようで、子どもが楽しみにしています」「普段の給食がバランスの良いもので、安心できます」「いつもありがとうございます」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	31	12	6	1
<p>「はい」が62.0%、「どちらともいえない」が24.0%、「いいえ」が12.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「虫や植物などをよく観察しています」「七夕やお月見など季節の集会が楽しいようで、帰宅してからその話をよくしてくれます」などの声がありました。 その一方で、「戸外遊びがペランダ遊びなどにとどまることが多く、もう少し自然に触れる機会を増やしてほしい」という意見もありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	4	2	1
<p>「はい」が86.0%、「どちらともいえない」が8.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「急に遅くなることを伝えた際も、大変ですねと共感をしてくださったり、迎えに行った際も優しく対応をしてくださる先生がおり、救われた気持ちになりました」「対応をしていただき、ありがとうございます」「とてもありがたいです」「仕事で遅くなっても、気持ちよく居残りをしてくれます。対応が良いです」などの声がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	34	15	0	1
<p>「はい」が68.0%、「どちらともいえない」が30.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「いろいろ考えていただき、ありがとうございます」「不審者対応など、日頃からどのような対策を行っているのか、保護者に知らせる機会があれば、なおよいと思います」などの声がありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	12	6	1
<p>「はい」が82.0%、「どちらともいえない」が24.0%、「いいえ」が12.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「保護者の集まりが最低限で、仕事に支障がないです」などの声がありました。 その一方で、「年間スケジュールは予め共有はあるものの、リスクなどが生じた場合は、共有が直近になり遅れがちなので、対応に困ることがあります」「行事の詳細をもう少し早くお知らせしてもらえると助かります」などの意見がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	41	6	2	1
<p>「はい」が82.0%、「どちらともいえない」が12.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「担任の先生は、とてもいねいに話を聞いてくれます。とても信頼できます」「担任の先生とはとても親しく、安心して話ができます」「いつも対応をしていただき、ありがとうございます」「アットホームで信頼関係が築けているので、とても良い保育園に入れてラッキーでした」「ベテランの先生が多く、保護者の私にもあたたかく声をかけていただき、安心します」「信頼できます」などの声がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	40	8	1	1
<p>「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が16.0%、「いいえ」が2.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「いつもお掃除をしてくださっていて、ありがとうございます」「いつも清潔にされていて、気持ちが良いです」「清潔感があります」などの声がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	30	14	6	0
<p>「はい」が60.0%、「どちらともいえない」が28.0%、「いいえ」が12.0%でした。 自由意見には、「どの先生方、スタッフの方も、ていねいに挨拶、声掛けをしてくださいます」「いつもの先生も、優しく元気に挨拶をしてくれて嬉しいです」「皆さんフレンドリーで話しやすい雰囲気です」「担任の先生はとても話しやすく、子育てのアドバイスをたくさんしてくれるので、とても頼りにしています」などの声がありました。 その一方で、「先生によります」という意見もありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	46	4	0	0
<p>「はい」が92.0%、「どちらともいえない」が8.0%でした。 自由意見には、「人数が多いと大変だと思います。ありがとうございます」「お迎え時に、けがをした時などはお話があります」「けががあれば、軽いものでもきちんと経緯などを教えてくれて、ていねいです」などの声がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	35	12	1	2
<p>「はい」が70.0%、「どちらともいえない」が24.0%、「いいえ」が2.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、「その日にあったこと、どう子どもに対応をし、どう伝えたのかを、お迎えの時にきちんと教えてくださると思います」「子どもの気持ちをしっかりと聞いて、互いの保護者にも伝えてくれるので安心です」「お互いの親の間にも入ってくれ、良い関係に導いてくれます」などの声がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	42	8	0	0
<p>「はい」が84.0%、「どちらともいえない」が16.0%でした。 自由意見には、「子どもの個性をよく理解してくださっていると感じます」「一人ひとりの子どもの思いを、大切に育ててもらっていると感じます」「子どもに寄り添い、個別の対応をしてくださいます」「子どもの気持ちを尊重してくれているのが伝わります。個性に合わせて対応をし、成長をさせてくださっています。トイレトレーニングなども、子どもの気持ちを一番に考え、無理なく行ってくださいます」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	38	11	1	0
<p>「はい」が78.0%、「どちらともいえない」が22.0%、「いいえ」が2.0%でした。 自由意見には、「プライバシーに関わる提出書類を、他の保護者がたくさん迎えに来ている中で説明されていました」などの意見がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	38	9	3	0
<p>「はい」が76.0%、「どちらともいえない」が18.0%、「いいえ」が6.0%でした。 自由意見には、「月に1度のおたよりで、今何をやっているかわかります」「いつもありがとうございます」などの声がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	34	13	2	1
<p>「はい」が68.0%、「どちらともいえない」が26.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「あまり不満に思うことなく、伝えたことはないが、多分そのようにしてくれる園だと思います」「不満、要望を伝える機会がありません」などの声がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	21	18	10	1
<p>「はい」が42.0%、「どちらともいえない」が36.0%、「いいえ」が20.0%、「無回答・非該当」が2.0%でした。 自由意見には、「役所や第三者委員については、全く耳にしたことがありません」などの意見がありました。</p>				